



6
月
4
日

申 4 号

蒲田駅乗務員通路新設

に伴う申し入れ

新型コロナウイルス感染拡大は、未だに収束の目途が立たない未曾有の事態が続いています。それに伴い、JR東日本会社の2020年度期末決算は民営化後初の赤字決算という事態に直面しています。この厳しい経営環境の中、職場ではコスト削減、収入の確保を目指し社員一丸となって取り組んでいるところです。

そのような中、横浜運輸区の定例訓練において、「蒲田駅乗務員通路新設について」の説明が行われました。内容は大まかな説明であり、現行の問題点や具体的な工事計画等についての説明は行われていません。乗務員通路新設となれば長期間の工期等により、多額の費用が費やされることが想定できます。このことは職場でコスト削減に向け努力している社員の想いと乖離があると言わざるを得ません。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、経営危機に直面している今必要なことは、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全を尽くし、社員が働きがいを実感しつつこの危機を乗り越えていくことではないかと考えています。下記のとおり申し入れ、団体交渉へ臨みます。

申し入れ事項

1. 蒲田駅に乗務員通路を新設する目的を明らかにすること。
2. 乗務員通路新設に関する工事内容ならびに工事費用を明らかにすること。
3. 乗務員の休養に対する考え方を明らかにすること。

職場実態に即した

設備投資、環境整備を求めます！